

せい ちゅう

# 丸福製紐株式会社

## ホシ☆クジャク印のブランド名で 高品質なゴム製品を皆様に届けます

私は昭和33年に丸福製紐に入社し、2代目である前社長からは社長職を引き継ぎました。大阪市内では非常にめずらしく、自社で製紐機を稼働してゴムテープ、ゴムひもを製造。正真正銘の国内品質の製品です。当社の製品は、ホシ☆クジャク印というブランド名を付けています。きれいで広がりのある孔雀のイメージと、輝くイメージの星を組み合わせ命名したもの。安価な商品が出回っている中、ブランド名に誇りを持ち、高品質な製品を提供しています。

製品づくりで大事にしているのは、伸縮性とやわらかさを保持しながら強度があるもの。一つひとつの作業を丁寧に行い、培った職人の技術を生かし、これからも高品質の商品を作り続けます。

代表取締役  
**作田庄治さん**

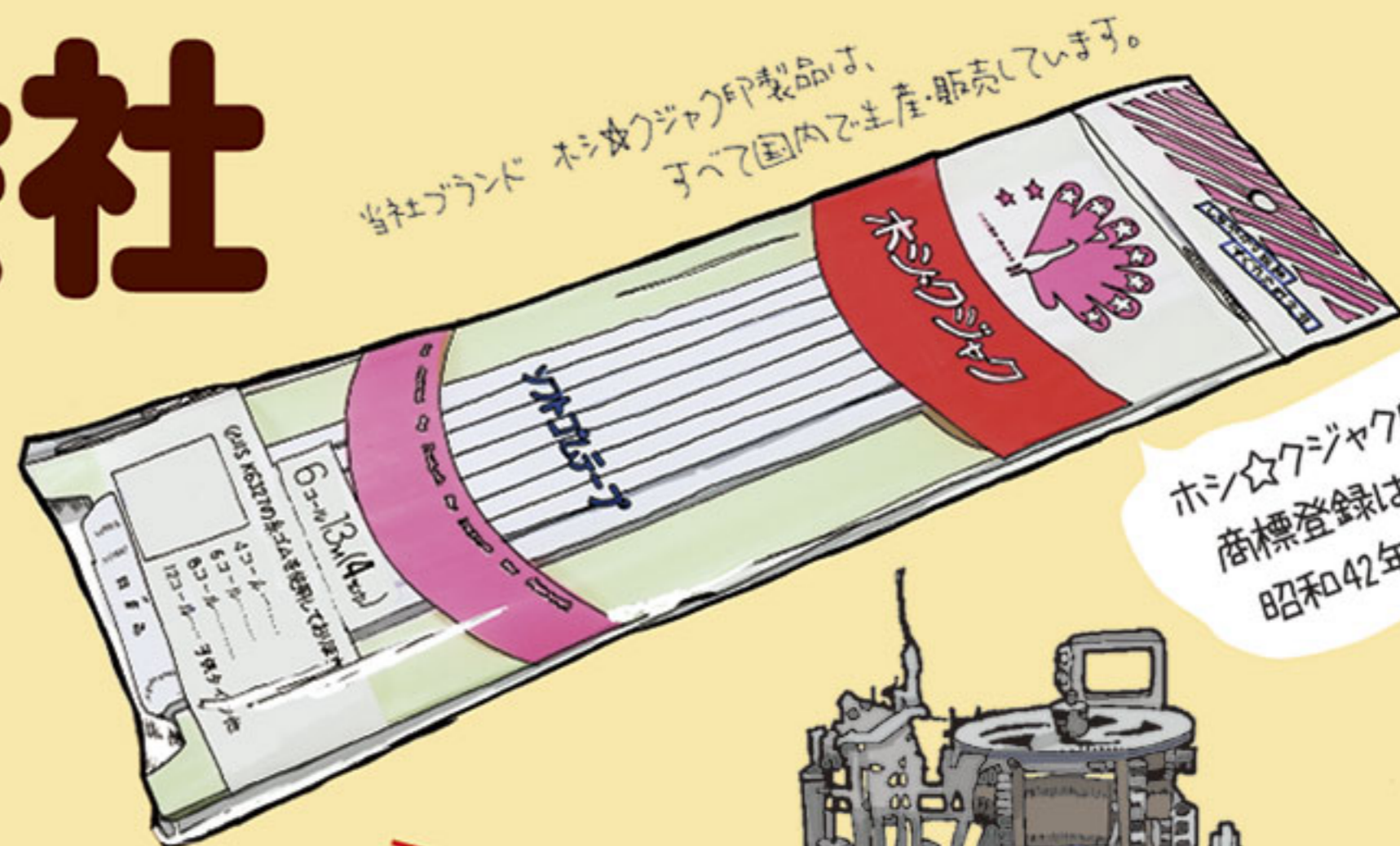


大阪市内でゴム製品の製造を行っているのはウチだけになりました。全国的に見ても数社しかありません。

「ゴム製紐品」は「ゴムテープ」「ゴムひも」の事。  
「ホシ☆クジャク印」も「丸福製紐」も「丸福製紐」の  
織ゴムなど様々です。ウチは専門メーカーとして  
どんな要望にも応えるよう頑張っています。



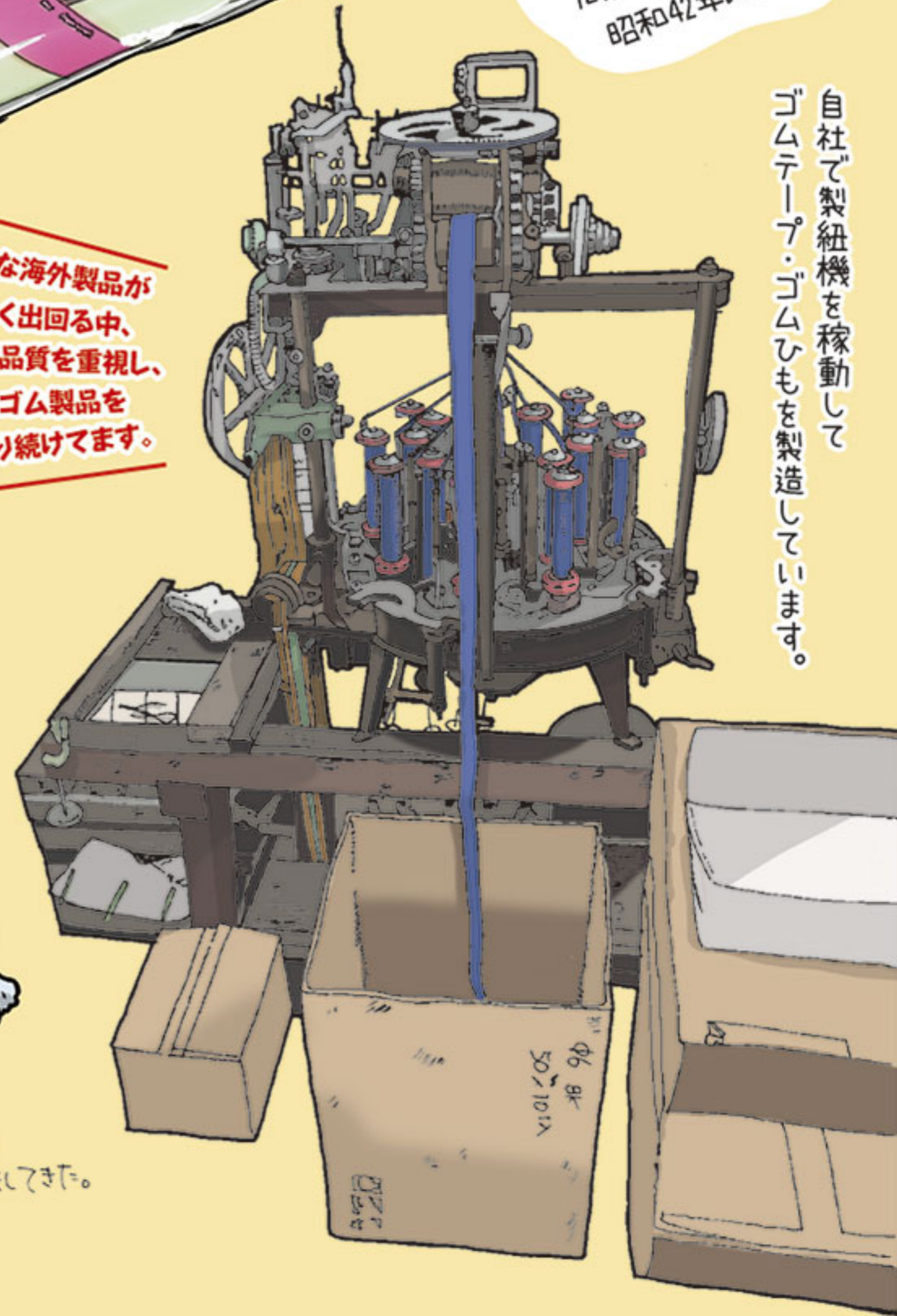
単行袋の物資不足の混乱の中でも算にこだわり、  
日本製のゴム製紐を提供しました。



当社ブランド ホシ☆クジャク印製品は、  
すべて国内で生産・販売しています。

ホシ☆クジャク印の  
商標登録は、  
昭和42年に取得。

安価な海外製品が  
多く出回る中、  
徹底して品質を重視し、  
国内産のゴム製品を  
作り続けてます。



自社で製紐機を稼働して  
ゴムテープ・ゴムひもを製造しています。



## 昭和9年から一貫して 国内製のゴム製品を製造

丸福製紐の創業は、昭和9年。創業から一貫して現在まで変わらず、ゴムテープ、ゴムひもの製造・販売を行っている。ゴムテープには、主に平ゴム、丸ゴム、織ゴム、横巻ゴム、組ひもなどがある。たとえば、平ゴムは学校のカラー帽子や洋服のウエスト部分などに使われる一般的なもの。ただ同社が製造するものは、伸縮性の強いものや弱いもの、カラーバリエーション、耐熱性、クリーニング対応のドライゴム、ラメなどファッション性の高いものと、幅広いバリエーションや仕様をそろえている。丸ゴムはヘアゴムや菓子箱、ダイアリーなど文具に使用される場合が多い。レーヨン系、ナイロン系、ポリエステル系、ナイロンウーリー系など、用途に応じて選べるよう様々な素材に対応している。

ゴム製品の製造過程は、仕入れた生ゴムを伸ばして指定の太さにし、そこに糸を巻いて覆っていく。糸には、ポリエステルやポリプロピレンなどの合成繊維、綿や麻などの天然繊維と種類は様々。ペンケースやノート、弁当箱など製品に使用されるものから、資材として使われるものまで、用途に応じた糸素材を選び、糸の巻き方を工夫する。糸を巻き上げるのに機械を使用するが、複雑な形状や強度を形にするには単純ではない。作田さんが言うには「糸の巻き方は、こっちの糸を抜いたらこんな風に編めると頭でイメージする」と、やはり職人としての経験が求められることが多い。だからこそ、同社の製品は私たちがイメージしているゴム紐の範疇を超え、アクセサリー、服飾、雑貨、文具、生活用品など様々な製品に使用されている。海外製品とは違う品質での勝負が、同社の強みと言える。

丸福製紐株式会社  
<https://www.marufuku-seichu.co.jp/>  
 〒544-0031 大阪市生野区鶴橋1-10-11  
 TEL 06-6716-8883 FAX 06-6715-1023  
 事業内容/ゴムテープ・ゴムひも製造・販売

製紐機は55台。  
厚みや幅など、  
大きさによって  
使い分ける。

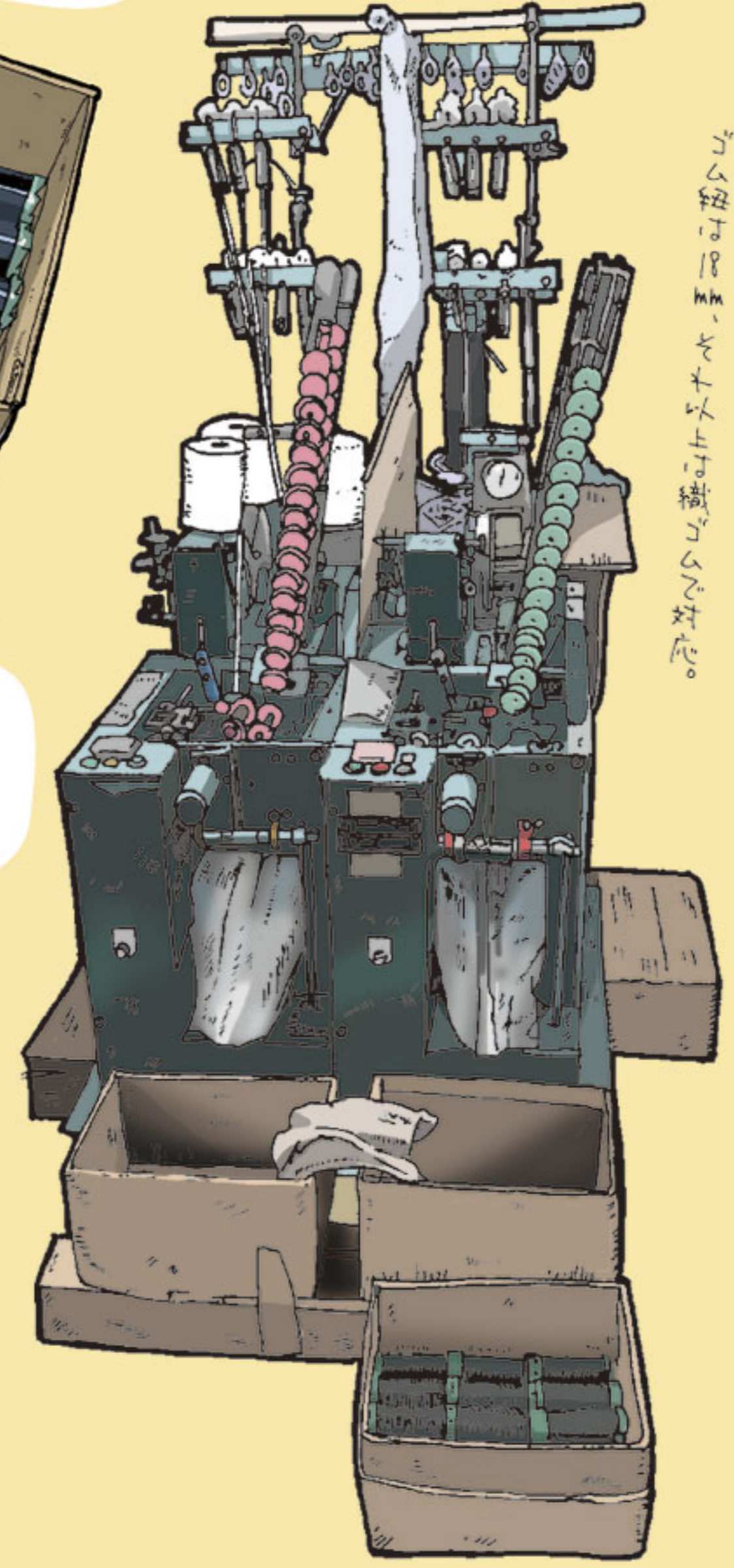


原系メーカーから仕入れた糸を管巻機  
(くだまきき)で製紐機に使用する  
専用ボビンに巻いていきます。

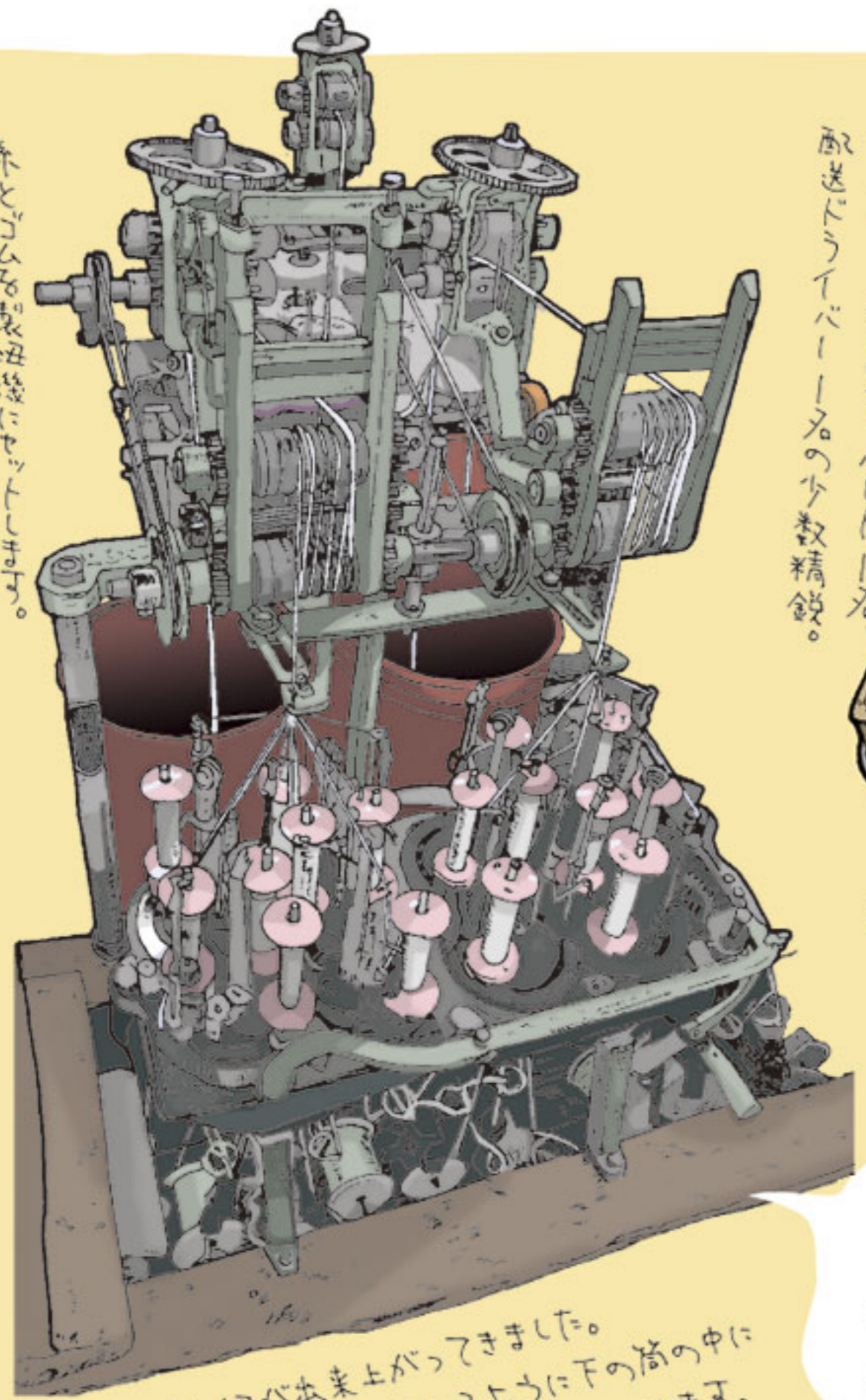


このゴム紐の場合当社では  
約72m/日ぐらいできます。

健康グッズ等に使用されるゴムは、  
ゴムを中心に外16本、中16本の紐を  
それぞれ編みながら巻き付けていく。  
とても複雑な作業だ。



ゴム紐は18mm、それ以上は織ゴムに対応。



社員は3名だけで、ペレット系、  
配送ドライバー系の少数精鋭。

ゴム紐が出来上がってきました。  
ゆっくり流れるように下の筒の中に  
納まっています。

### 我が社の 自慢

### 有名デザイナーから依頼が来ることも!

天然ゴムはミシンで縫ってしまうと切れる。  
伸縮性を実現するために、  
合成繊維のスポンジックスを挿入など、  
その時々に応じて素材を選択。



幅が何mm 厚さが何mmと  
細かく指定されることも。

国際的に有名なファッション  
デザイナーから、洋服の  
パーツとしてゴム紐を使用し  
たいと注文が来たことも。  
扱ったことのない素材で、  
複雑な仕様を形にしなけれ  
ばならず、試行錯誤の上に  
編み方を工夫し、カタチにし  
た。

糸とゴムを巻き合わせる機械のイラスト。